

第五十回帝國議會 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)

製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出) 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出)

委員會會議錄(速)第二一回

會議

大正十五年三月二十日(土曜日)午前十時三十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 奧村 千藏君

理事 森 恪君

理事 岩切 重雄君

飯塚春太郎君

戶澤民十郎君

大里廣次郎君

青山 憲三君

坂梨 哲君

金光 庸夫君

三月十九日委員小野義一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日青山憲三君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣男爵 幣原喜重郎君

出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府事務官 山本 犀藏君

商工參與官 野村 嘉六君

商工技師 野田 鶴雄君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

製鐵所長官 中井 勵作君

商工書記官 渡邊 義介君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)

製鐵所特別會計法案(政府提出)

大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出)

○加藤委員長 是カラ製鐵業獎勵法改正法律案外二件ノ委員會ヲ開キマス、

○岩切委員 私人製鐵所ノ特別會計法ヲ御制定ニナリマシタコトニ付キマシテ製鐵所長官ニ伺ヒタイ、之ニ依リマシテ今後製鐵所ハ主トシテ借入金デ事業計畫ヲ立テテ行クト云フ案ノヤウニ思ハレマスガ、從來製鐵所ノ事業關係ニ付キマシテ吾々ハ十分ナ知識ハアリマセヌケレドモ、果シテ此借入金ニ依テヤツテ行ク所ノ製鐵所ノ事業ト云フモノガ、收支償ッテ行クノデアルカ、表ヲ戴キマシタケレドモ、要領ヲ一ツ御說明願ヒタイ、殊ニ斯ウ云フ點ニ付テ續イテ御尋シタイノハ、製鐵所ニ於ケル銑鐵ト鋼材ト云フモノノ生産費ハ、民間トハドウ云フ比較ニナツテ居ルカ、或ハ銑鐵鋼材以外ノ物ガ大分アリマスカラ、其點デ儲カルカモ知レマセガ、銑鐵鋼材ニ對シテハ果シテドレ位ノ生産費ガ掛カテ居ルノデアルカ、此點モ併セテ御答辯願ヒタイ

○中井製鐵所長官 只今ノ御尋ハ、第一ニ今後ハ必要ナル設備ノ増加デアルトカ改良トカハ借入金ヲ以テ行フト云フ趣旨デアアルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ此法案ニ依リマシテ考ヘテ居リマスコトハ、第一ニ製鐵所ノ益金ヲ以テ改良擴張ニ充テル積リデアリマス、但シ或設備ニ相當多額ノ費用ヲ要スル、其場合ニハ公債ヲ募集シ又ハ借入金ヲ以テ充テマシテ、其償却ハ將來ノ益金ヲ以テ充テルト云フヤウナ趣旨デ編成サレタモノデアリマスガ、サウ云フ事ガ將來都合ク運ンデ行クカドウカト云フ御尋デアラウト思ヒマスガ、只今ノ所改良擴張ト云フ事ニ屬シマスル事業ハ、第三期擴張ノ残りガマダ年額百三十萬圓バカリアリマス、其他ニ小形工場ノ増設ノ爲ニ約年額三十萬圓バカリノモノガ、將來數年間ハ一般會計ニ委任サレテ居ッタガ、一面益金ノ方ハ十四年ガ百三十萬圓、十五年度ガ百六十萬圓ト云フ益金ニナツテ居リマス、是ハ財政計畫ノ上ニ於テ多少ツ増スコトニ從來見積ラレテ居リマシテ、又製鐵所ニ於テハ年々幾分ツツ益金ヲ増スコトガ出來ル見込デ居ルノデアリマス、ソレデ何故ニソレデハ將來益金ガ多少デモ増スカト申シマス、ト云フコトト、多少ツツ動力ノ電化ヲ致シマシテ、又燃料ノ餘熱ヲ利用スル設備ヲ毎年多少ツツ補足工事トシテヤツテ居ルノデアリマスガ、其結果トシテ多少ノ益金ヲ増シマスルシ、又先年來實行シテ居リマスル銑力デアアルカ、銑素鋼板ト云フヤウナ物ガ多少ノ益金ヲ生出ス迄ニ進ンデ參リマシタ、左様ナ事カラ大正十四年度ハ百三十萬圓、十五年度ハ百六十萬圓ノ益金ハ、生産ヲ増スニ從テ多少ツツ増シテ參ル見込デアリマス、然ラバ只今ノ一般會計ヨリ支出サレテ居リマス約百六十萬圓ノモノヲ續ケテ參ルコトハ左程困難デナク、又將來多少ツツ益金ガ増加シテ參リマス、然ラバ其益金ヲ以テ繼續的事業ニ充テルコトモ出來マスシ、將來段々此法律ニ依テ改良擴張ヲ行ッテ行キマシタ結果トシテハ、多少ツツ益金ヲ増加スルコトニナリマシテ、借入金ヲ致シマシテモ其償却ガ此會計ニ於テ負擔スルコトガ出來ルヤウニナルト考ヘテ居リマス、而シテ此民間トノ生産費ノ狀況ハドウデアアルカト云フコトニ付テ續イテノ御尋デゴザイマスガ、是ハ生産費ガドウナツテ居ルカト事フコトヲ此所デ細カク申上ゲルコトハ困難デハ銑鐵ヲ造ッテ居リマス、他ハ總テ製鋼原料トシテノ銑鐵デゴザイマス、所デ此銑鐵ニ付テ製鐵所ハ御承知ノ通り

第五類第二十三號 製鐵業獎勵法改正法律案(政府提出)外二件委員會會議錄 第二回

大正十五年三月二十日

皆大キナモノバカリデゴザイマス、副産物ノ採收設備モ、マダ十分トハ申上ゲ兼ネルカモ知レマセヌガ、相當進シテ採收シテ居リマス、昨日野田君カラ申上ゲタ混銑爐ト云フモノヲ相當設備シテ居リマスカラ、銑鐵ニ付テハドウシテモ多量ニ造ッテ居リマヌダケ、他ノ民間ノ物ヨリ相當安ク出來テ居ルト存シテ居リマス、殊ニ製鐵所デ使ッテ居リマス製鋼爐ノ原料ノ銑鐵ハ、只今出來マスノハ殆ド總テ冷サイデ銑銑ノ方ヲ使ッテ居リマス、サウ云フ關係係値ノ方モ安ク出來マス、ソレカラ各種ノ鋼材ヲ製作致シマスノハ、是ハ物ニ依ルト民間ヨリ餘程安ク出來テ居ルト思ヒマス、ソレハ是モ多量生産ノ結果デアルト存ジマスガ、全體ヲ綜合致シマシテ申上ゲマス、御承知ノ通り日本ノ鋼材ノ需要ノ範圍ガ、内地ダケニ限ラレテ居リマス、ソレデ幾度モ壓延工場ニ於ケル「ロトル」ノ掛替ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、割合高ク附クノモアリマス、ソレデ彼處デ若シ製鐵所ノ最モ經濟的ニ都合ノ好イ物バカリヲ造ルコトニナリマシタナラバ、今ヨリカ尙ホ多クノ利益ヲ擧ゲルコトガ出來ルト思ヒマスガ、是ハ日本ノ需要、殊ニ軍事上ノ需要等ヲ考ヘマシテ、假令面倒デモ手數ガ掛カテモ、再々「ロトル」ノ掛替ヲシナケレバナラヌト云フモノモアリマスノデ、設備ノ割合ニ勞力ハ少イト思ヒマスガ、大體銑鐵ニ於テモ鋼材

ニ於テモ、澤山造ルモノハ銑銑使フコトモ出來マスシ、又餘熱ノ利用等ガ仕事ノ範圍ガ廣イダケニ、割合ニ都合好ク行ハレルト云フ關係カラ、銑鐵ニ致シマシテモ、鋼材ニ致シマシテモ、民間ニ比ベルト割合ニ生産費ガ安クテ済ムヤウナ狀況ニナッテ居ルト考ヘマス

○岩切委員 サウシマス、製鐵所ノモガ民間ヨリ割合安ク出來ルト云フノハ、要スルニ多量生産ノ結果ダト斯ウ云フ結論ニナルノデアリマス

○中井製鐵所長官 大體申シマス、サウ云フ譯デアリマス

○岩切委員 サウシマス、製鐵國策ト申シマス、近頃政府デモ色々御計畫ニナッテ居ル計畫ハ、民間ノモノハ、或ハ鋼材ニ對シテハ辰稅ト申シ、銑鐵ニ對シテハ獎勵ト申シ、ソレ「アリマスガ、製鐵所ノ官業ノ方ハサウ云フコトガナイ、多量生産デアルカラ生産費ガ比較的安ク行ッテ、保護ヲシナデモ償フト云フコトニナリマス、民間ノ製鐵ヲ指導スルト云フ立場カラ考ヘマス、矢張民間ノ事業ヲ多ク合併シテ行ケバ出來ルト云フ結論ニナリマシガ、是ハ後デ御答ヲ得タイト思ヒマス、ソレカラ製鐵所ハ從來何億ト云フ多額ノ金ヲ注ギ込ンデ來マシタ、此從來ノ固定サレマシタ資本、是ハ國費ダカラ使ッテモ宜イモノデアリマス、特別會計ニナリマスカラ幾ラカ償却シテ行く形式ヲ御取リニナリマス、其點ハド

ウナリマス、ソレカラ從來發行シタ公債ト云フモノハドノ位デアリマスカ

○中井製鐵所長 官只今ノ初メノ御問ハ、極ク大體論カラ申シマス、多量ノ生産ハ確ニ生産費ヲ安クスルト思ヒマス、唯物ニ依リマシテハ、非常ニ細カイモノガアリマスカ、サウ云フ細カイモノハ、細カイダケニ鋼片ヲドウシテモ冷サナケレバナラヌカラ、是ハ必ズシモ多量生産ニ限ラナイト思ヒマス

○森委員 私ハ此場合外務大臣ノ御方針ヲハッキリ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ嘗テ外務ノ豫算分科會ニ於キマシテ、一寸出マシタガ、本委員會ノ問題ニナッテ居リマスノハ、政府ハ製鐵事業ノ獎勵ヲナサレルニ方ッテ、委員會ノ大體ノ空氣トシテ希望シテ居リマス點ハ、原料政策ト云フコトガ確立致シテ居ラナケレバ、此鐵ノ根本發達ヲ期待致スコトガ出來ナイ、而シテ其原料政策ノ中デ、日本内地デ最モ豐富ナリト看做サレテ居リマス砂鐵ニ對スル點ハ姑ク別問題トシテ、現在製鐵事業界ノ現實ニ使用サレテ居リマス原料、即チ鐵礦石並ニ滿俺、其他「コトクス」ノ原料デアリマスガ、今主トシテ私ヨリ外務大臣ニ御質シテ致サントスル所ノモノハ、鐵礦石ト滿俺デアリマス、此二點デアリマス、外務大臣御承知ノ通り支那ノ現行鑛業條例ト云フモノニ對シマシテハ、吾々ノ承知スル範

○岩切委員 モウ大體質問スルコトアリマセヌガ、一ツ製鐵所長官ニ御願ヒ

圍デハ、日本政府ハ十分徹底致シタ所
ノ對策ヲ講ジテ居ラナイノデアリマ
ス、第二ニ殊ニ鐵ニ對シマシテハ今ノ
支那ノ政府ハ鐵國有主義ノ下ニ鐵鑛暫
行辦法ト云フモノヲ制定致シマシテ、
之ヲ嚴重ニ施行致シテ居リマス、其結
果ト致シマシテ殆ド禁止ノナル輸出稅
ガ課セラレテ居ル、一噸ニ付テ一圓以
上ノ重稅ガ課セラレテ居ル、而シテ鐵
鑛石ノ原料ヲ數量ニ拘ラズ度數ニ拘ラ
ズ賣買ヲ致シマス、殊ニ海外ニ輸出ス
ル時分ニハ必ズ中央政府ト地方官憲ノ
承認ヲ必要トスルト云フコトニナッテ
居リマス、ソレカラ又外國人ハ技師一
名以外ハ顧問ニスルコトハ出來ナイ、
極端ニ言ヘバ山ニ住ムコトモ出來ナイ
ト云フヤウナ嚴重ナ規定ガアル、有ラ
ユル拘束ガアリマスガ爲ニ、此支那ノ
鐵鑛山ノ經營ハ非常ニ困難ニナッテ居
ル、ソレカラ又一體鐵鑛山事業デ其鑛山
ノ事業ノ安全ヲ期待致シマスルニハ、
大概十年以上ノ創業的施設ト云フモノ
ヲナサナケレバ安全ニナラナイノデア
リマス、而モ非常ニ大ナル資金ガ要ル、
今ノ政府ノ國情デ鐵鑛山ヲ開クト云フ場
合ニハ、大體海外ノ資金ヲ仰ガナケレ
バ決シテ出來ナイ、一方ニ斯様ナ嚴重
ナ拘束ノ下ニヤッテ居リマス、ソレニ對
シテ外國カラ資金ヲ仰グト云フコトハ
殆ド困難デアル、外國ノ資金ノ這入ラ
ナイト云フ所以ノモノハ、主ニ斯ウ云
フ一方ニ於テ鐵鑛山法ガアリ、一方ニ於

テ禁止の特種制度ガアリマスル爲ニ、
一層困難ニナッテ居ル、成程日本ノ製鐵
所關係カラ、或ハ大冶鐵鑛山デアルトカ、
挑中鐵鑛山デアルトカ云フモノニ對シテ
間接的ニ資金ハ供給サレテ居リマスル
ガ、其資金ノ供給ノ調子ハ極テ曖昧デ
不徹底ナル手續ノ下ニ爲サレテ居ル、
隨テ其資金ノ威力ト云フモノハ少モ無
イ、ソレガ詰リ極テ困難ニナッテ居ル重
大ナル原因デアル、ソレデ國家ガ此製
鐵事業ニ對シテ、進ンデ獎勵の方針ヲ
執ラナイト云フ場合ナラバ暫ク措キマ
スルガ、今斯様ニ獎勵セラレルト云フ
場合ニ、其基礎トナル此原料ノ供給ニ
付テ、斯様ナ資金ノ援助モスルコトガ
出來ズ、經營モ困難ニ陥ルト云フ場合
ニアルコトヲ此儘ニ見テ居ルト云フコ
トハ、非常ニ是ハ大ナル不便デアルト
思フノデアリマスガ、或ハ外國ノ事デ
アルカラ何モ言ヘナイ、斯ウ云フ御言
葉ガアルカモ知レマセヌガ、併シ從來
ノ行懸リカラ言ヒマシテ、是ハ日本政
府ニ於テ懇切ニ御接衝ニナッタナラバ、
斯様ナ事ニハナラナカッタノデアラウ
ト思フ、現ニ此鐵鑛暫行辦法ガ出來マ
スル時分ニ、北京公使館ニ於テ私ガ其
當時、前ノ農商務省トノ間ニ立ッテ、今
ノ支那ノ現行鐵鑛條例ノ如キ、實ハ私
ガ翻譯ヲ致シタ、ソシテ工合デアリマ
シテ、日本ノ方針ガ一貫致シテ居リマ
シタナラバ接衝スル餘地ハ十分アルノ
デアリマス、何故カ是等支那ノ法規ガ

實際ハ我ガ日本ノ製鐵事業ニ非常ナ不
便ヲ與ヘテ居ルニ拘ラズ、是ガ甚ダ言
葉ハ宜シクナイカモ知レマセヌガ、先
ヅ等閑ニ附セラレテ居ルト云フ有様デ
アリマス、ソレデアリマスカラ吾々ハ
ドウカ一ツ、國策ノ一端トシテ此點ニ
十分ニ御注意ヲ拂ッテ——唯言葉ノ上
デ拂ッテ居ルト云フノデナク、實際此不
便ヲドウシタラ解除出來ルカ、ドレダ
ケノ努力ヲサレルカト云フコトヲ一ツ
此際承ツテ置キタイト思ヒマス
○幣原國務大臣 支那ニ於キマシテ製
鐵材料ノ外國ニ輸出セラレルトニ付
キマシテ、色々ノ制限ヲ置キ、不便ヲ加
ヘテ居ルト云フコトハ、只今森君ノ御
話ニナッタ通りデアリマス、又此事業ニ
關シテ外國ノ資本トカ、技術トカガ加
テ參リマスコトヲ、支那ハ何故デアリ
マスカ、非常ニ恐レテ懷イテ居リマシ
テ、之ニ對シテ又非常ナル制限ヲ加ヘテ
居ルト云フコトモ事實デアリマス、是
等ノ點ハ森君モ御承知ノコトト思ヒマ
スルガ、華盛頓會議ノ席上ニ於キマシ
テ、所謂極東委員會ノ席上ニ於キマシ
テ、私ヨリ隨分詳シク論ジマシタ、是等
ノ制限不便ト云フモノハ、支那ノ方デ
撤回スルト云フコトハ、列國ノ利益ダ
ケデナクシテ支那自身ノ爲ニ非常ニ利
益デアル、今ヤ列國ハ相會シテ支那ノ
門戶開放トカ、機會均等ト云フヤウナ
保障ヲ與ヘマスニ當リマシテ、支那自
身ニ於テモ反省シ、斯様ナ不便制限ト

云フヤウナモノハ除去シナケレバナラ
ヌト云フコトヲ、相當ニ私ハ痛論シタ
積リデアリマス、英吉利ノ全權モ之ニ
對シテ全然同感ヲ表シマシテ、共ニ支
那ノ問題ニ對シテ、支那ノ此問題ニ關ス
ル政策ヲ明カニセンコトヲ求メタノデ
アリマス、單ニ製鐵材料ダケノ問題デ
アリマセヌ、總テノ鐵業原料ニ付テデ
アリマスガ、製鐵材料ハ其主ナル一例
トシテ述べタノデアリマス、遂ニ支那
ノ委員モ吾々ノ述べマシタ趣意ヲ諒承
致シマシテ、一ツノ陳述書ヲ朗讀致シ
タノデアリマス、即チ支那ハ斯ノ如キ
富源ノ開發ト云フコトニ付テ喜ンデ外
國ノ技術的、並ニ財政的ノ援助ヲ歡迎
スルノデアル、是等ノ援助ニ依テ支那
ノ富源ノ開發ト云フモノヲ期スルコト
ハ、時代ニ適シタル一ツノ政策デアル、
此趣意ニ付テ少シモ異存ノアルコトハ
ナイト云フコトヲ明言致シタノデアリ
マス、此華盛頓會議ハ御承知ノ如ク、其
結果ハ其後或ル一國ガ久シク批准致シ
マセヌガ爲ニ、延々ニナッテ居リマシ
タ、漸ク昨年ノ九月デアリマシタカ、十
月デアリマシタカ——九月ダト思ッテ
居リマスガ、列國總テノ批准ヲ了シタ
ノデアリマス、是ニ於キマシテ列國ノ
側ニ於キマシテモ、支那ニ對シ義務ト
ナッテ居リマス事項ハ確ニ其義務ヲ勵
行スベキコトト相成ッタノデアリマス、
是ト同時ニ支那ガ又華盛頓會議ノ結果
ニ依テ果スベキ事項ハ、吾々ハ同時ニ

支那ニ對シテ要求シ得ベキ立場ニナリタノデアリマス、御承知ノ如ク昨年ノ暮ヨリ支那ニ動亂ガ起リマシテ、斯様ナ問題ニ付テ篤ト支那ノ政府ト交渉ヲ開クト云フ立場ニナッテ居リマセヌ、今日ノ狀態ニ於テ支那ノ政府ト談判致シマシテモ、中央政府ノ威力ト云フモノハ地方ニ餘リ及ンデ居リマセヌ、具體的ノ斯ウ云フ問題ヲ決定致シマスル適當ナ時機デゴザイマセヌノデ、今日迄延々ニナッテ居ルノデアリマス、此關稅會議ノ進行ニ伴ヒマシテ、斯様ナ支那ノ外國貿易ニ對スル妨害ト云フヤウナモノハ、撤回スルヤウナ方針ヲ以テ吾吾ハ出來ルダケノ解決ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ只今森君ノ御述ニナリマスル所モ、是モ出來レバ今度ノ關稅會議ニ於テ解決致シタイ、若シ關稅會議ニ於テ解決スルニ適當ナ時機ヲ得マセヌ場合ニ於キマシテハ、更ニ適當ナル時機ヲ見マシテ、成ベク速ニ是等ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

云フヤウナ意味ノ御答デアッタノデアリマス、現ニ亞細亞局長モ政友會ノ政務調査會ニ於テ、日本ハ合理的ノ要求ヲシテ此際何等カ解決スルトカ、觸レルトカ云フ意思ハナイカト云フ質問ニ對シテ、今回ハナイ、唯支那ノ合理的ノ申出ニハ慎重ニ考慮スルト云フヤウナ意味ノ御答デアッタ、吾々ハ此點ヲ満足致サナカッタノデアリマスガ、今關稅會議ノ機會ニ於テ、出來得ルナラバ各種ノ斯ウ云フ問題ヲ解決スル意思デアルト云フコトノ御言明ヲ得タノデアリマスガ、此點ハ私ハ満足致シマス、唯只今外務大臣ノ御言葉ノ中ニ、中央官憲ノ威力ガ地方ニ及バナイ、其結果暫行辯法ノ如キモノノ解決モ、中央ノ威力ガ及バナイ間ハ十分満足ヲ得ラレナイト云フ意味ノ御意思カト想像出來ルノデアリマス、暫行辯法ノ制定ハ地方官憲ノ運動ニ依テ出來タモノデハナイ、全ク北京ニ於ケル高等政策ノ上ニ於テ取極ツタモノデアリマシテ、此暫行辯法ノ改正ト云フガ如キハ、北京中央政府ダケ十分出來ル筈ノモノデアアルノデス、成立カラ考ヘマシテモ、其當時ハ今ノ土耳其大使小幡君ガ北京ニ居ラレマシテ、主トシテ此問題ニ當ラレタノデ、私ハ其間ニ往來ヲ致シテ居ッタノデアリマスカラ、能ク之ヲ承知致シテ居ル、ソレデ此暫行辯法ノ如キ法規ハ、全ク日本ノ製鐵事業ニ付テ拵ヘタモノデ、極端ニ云ッタラ日本ニ對抗スル爲メニ

拵ヘタト云ッテ差支ナイヤウナ性質ノモノデアリマス、私ハ大體大キナ高等政策ノ上カラ申シマスルト、大方針ノ極マル時期デナケレバ極マラヌト云フコトニナルノカモ知レマセヌガ、斯様ナ部分的ノ問題ニ付テハ、相成ベク速ニ手ヲ御著ケ下サイマシテ、サウシテ吾々ノ不便トスル所ヲ合理的ニ除カレルト云フコトニ御盡力ヲ願ヒタイノデアリマス、イツモ外務當局ハ斯ウ云フ問題ヲ御願ヒシタリ、質問ヲ致シマスルト、ヤッテ居ル、ヤル積リダト云フ御言葉ハ必ず得ルノデアアル、併ナガラ事實ハ中ニサウ行カナイ、實際問題ニ觸ラレナイ、ソレデ私共ハ満足スルコトガ出來ナカッタ、之ヲ要求スルコトガ支那ニ向ッテノ壓迫デモナケレバ何デモナイ、公ニ要求ヲサレル事柄デアアル、是ガ解決サレナカッタラ内地デ如何ニ此製鐵事業ノ獎勵ヲシテモ、製鐵工業ノ上ニ此鑛石ヲ使ッテ居ル以上ハ、日本ノ製鐵上ノ安全ヲ期スルト云フコトハ全然不可能ダラウト思ヒマス、要スルニ鑛石ガ土臺ニナルノデアリマス、殊ニ滿僱ニ至リマシテハ製鐵所長官ヨリモ御話ガア、タ通り全ク依ルベキ原料鑛ガナイノデアリマス、支那ニハ今見當ラナイト云フ話デアリマシタガ、要スルニハ研究ガ足りナイカラ發見出來ナイ、今ノ支那ノ狀態デハ技師ガ支那ノ鑛山ヲ調査スルコトハ出來ナイ、嘗テ農商務省ハ地質研究所

ノ技師ヲ派遣サレテ非常ニ研究サレタノデアリマスガ、是モ殆ド或ル場合ニハ吾々關係事業ノ事業員ノ名前ヲ利用シテ旅行サレタト云フヤウナ姑息ナ有様デアリマス、少シモ徹底シタ研究ガ出來ナ、之ヲシナイ理由ハ何所ニアルカ、別ニエライ法規ガアル譯デモ何デモナイ、ヤレバ十分出來ル、唯外交關係者ノ折衝ガ十分デナイ爲ニ其目的ヲ達シ得ナイト云フ實情ニアルノデス、此點ハ相成ベク至急、特ニ此暫行辯法ニ付テハ解決ヲ急イデ着手セラレムコトヲ御願ヲ致シマシテ、私ハ外務大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス、外務大臣ノ言明ヲ得タイ

○幣原國務大臣 只今森君ノ御述ニナリマシタ御意見竝ニ御希望ニ對シマシテハ、十分ニ考慮ヲ加ヘルコトニ致シマス

○加藤委員長 他ニ御質問ガアリマスカ

○森委員 大藏當局ハ出ラレナイノデス

○加藤委員長 大藏大臣ハ病氣デ出ラレマセヌ、今日モ一寸出席ガムヅカシイ、ソレデ昨日ハ片岡商工大臣ノ言明デ御了承ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトデアリマス

○森委員 然ラバ商工省ノ政府委員カラ大藏省ニ對スル資金ヲ要求シテ、原料供給ノ途ヲ開ク援助スルト云フ必要ガアルト思フ、例ヘテ申シマスレバ、

内地ニ於テハ朝鮮銀行ガ營業ニ失敗スル臺灣銀行ガ事業ニ失敗シタ、興業銀行ガヤリ損ナッタト云フヤウナ點ニ對シテ、五千萬圓或ハ一億萬圓ト云フ巨額ノ資金ヲ出シテ之ヲ救濟致シテ居ラレル、然ルニ此日本ノ製鐵工業ノ基礎トナルベキ鑛石ノ供給、之ヲ加工スル事業ニ對スル資金の援助ト云フモノハ、實ニ不徹底デアアル、積極的デナイ、受身デアアル其受身モ實ニ徹底シテ居ラナイ、是ハ手續法規ノ上カラシテ出來ルトカ出來ナイトカ云フ理由ガアルコトトハ信ジマスケレドモ要スルニ方針ガ其所ニナイ爲ニ出來ナイノダラウト私ハ思フ、此點ニ對シテ積極的ニ御援助ニナラナカッタナラバ、原料ノ供給ト云フコトハ安全ニナラナイト云フ私共ハ確信ヲ持ッテ居リマス、是ハ昨日モ參與官ガ御同意ニ相成ッタ點デアリマスカラ、此點ヲ一ツ大藏省方面ニ徹底致スヤウニ吾々ノ意思トシテ御傳ヘテ願ヒタイ、ソレカラ第二ニ大藏省ノ、若シ此處ニ大藏大臣御出席デアラナラバ、私共ハ言明ヲ得テ置キタイト思ッテ居リマシタノハ、製鐵事業獎勵ノ骨子ガ銑鋼一貫主義、之ヲ發達サスト云フ趣旨デ、日本ノ現狀ハ銑鋼一貫主義ニ成ッテ居ラナイ、其成ッテ居ラナイ現狀ヲ理想ノ域マデ漕ギ着ケマスニハ、斯様ナ薄キ補助、助成デハ其目的ヲ達シ得ラレナイト思フ、之ヲ達スルニハ相當巨額ナル資金ヲ製鐵事業ノ上ニ加ヘナケ

レバナラヌト思フ、然ルニ今日ノ資本不足、金利高ノ世ノ中ニ斯様ナ經濟ノ立タヌ算盤ノ償ハザル、而モ補助ノ薄イ事業ト云フモノガアル、然ルニ他ノ事業ニ對シテハ此援助トカ、救濟トカ云フコトヲシテ居ラレル政府ハ、各種ノ事業ニ對シテ自ら低利資金ガ必要デアルトシテ、先程申シマシタ銀行ノ救濟等ニ相當ノ資金ヲ投ジテ居ラレルノデアリマスカラ、今國策トシテ進行ヲ圖ルベキ此重大ナル問題ニ對シマシテハ、是非共一ツ資金ノ供給ヲ爲シテ製鐵事業ノ銑鋼一貫主義ヲ完備サスト云フコトニ其意ヲ御用キ下サラナケレバ、私ハ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイト思ヒマス、此點ニ對シマシテモ、大藏當局ノ所謂產業政策ノ上ニ重キヲ置カレルト云フ意味ニ於テ、此意思ヲ十分徹底サストコトニ、一ツ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス

○野村政府委員 只今ノ森君ノ御意見ハ御尤デアリマシテ、丁度昨日モ此第二第三ニ對スル御質問ガアリマシタノデ、資金ヲ供給シテサウシテ製鐵事業ノ發達ヲ圖ル、完全ニ製鐵事業ヲ發達セシムルニハ、有ユル方面ニ便宜ト援助ヲ與ヘナケレバ、御説ノ通りニ完全ニ發達セヌト思ヒマス、サウシテ今日ノ程度デハ露骨ニ申シマスト或ハ不足カモ知レマセヌ、併ナガラハ昨日モ申シマシタ通りニ、一面又現時ノ財政ノ立場ヲモ御考慮ヲ戴キタイ、御説ノ

點御尤デアリマス、就キマシテハ大藏省ノ方ニ對シマシテハ商工省ト致シマシテ御趣旨ニ基キマシテ十分ニ交渉スル考ハ持ッテ居ル次第デアリマス

○戸澤委員 此附則ヲ見マスト「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トゴザイマスガ、是ハ何時頃カラオヤリニナル御考デアリマスカ、豫算ノ請求等ハドウ云フ風ニシテ御出シニナルノカ、又此勅令ノ内容ハ昨日ノ御説明デ略了解シマシタガ、補助金ヲ與ヘル總額ハドレ位アルデゴザイマセウカ、承ルコトガ出來レバ承ッテ置キタイト思ヒマス

○野村政府委員 此施行期日ハ勅令ニ讓ッテアリマス、ソレハ御説ノ通りデアリマス、就テハソレ何時カラ施行スルカ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、是ハ關稅定率法ノ——先ニ通過シマシタ改正案、アレヲ施行致シマストキニ同時ニ施行致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ此改正ニ伴フ補助額ハドレ程ニナルカ、斯ウ云フ第二ノ御質問デアリマシタガ、本日追加豫算ノ方ニ上程致シマシタ其額ハ、内地ガ六十五萬圓、朝鮮ガ三十五萬圓、合セテ百萬圓ト云フ追加豫算ヲ請求致シテ居リマス

○加藤委員 只今ノ森君ノ御意見ハ御尤デアリマシテ、丁度昨日モ此第二第三ニ對スル御質問ガアリマシタノデ、資金ヲ供給シテサウシテ製鐵事業ノ發達ヲ圖ル、完全ニ製鐵事業ヲ發達セシムルニハ、有ユル方面ニ便宜ト援助ヲ與ヘナケレバ、御説ノ通りニ完全ニ發達セヌト思ヒマス、サウシテ今日ノ程度デハ露骨ニ申シマスト或ハ不足カモ知レマセヌ、併ナガラハ昨日モ申シマシタ通りニ、一面又現時ノ財政ノ立場ヲモ御考慮ヲ戴キタイ、御説ノ

點御尤デアリマス、就キマシテハ大藏省ノ方ニ對シマシテハ商工省ト致シマシテ御趣旨ニ基キマシテ十分ニ交渉スル考ハ持ッテ居ル次第デアリマス

文句ガアリマスガ、此「至ルヘキトキ」ト云フノハ即チ補助金ヲ與ヘル起算點ト云フ趣意ニナルノデセウカ

○渡邊商工書記官 只今ノ御尋ニ御答ヘ致シマスガ、第二號ノ規定ハ銑鋼一貫設備ノナイ人デアルト致シマシテモ、其設備ノ對象トシテノ工事期間ノ長短——例ヘバ製銑ノ設備ノ方カラ先ニ着手シテ、製銑ノ方ノ設備ガ完成致シマスルト云フト、營業者ハ先ヅ其處カラ引入レヲシテ、事業ヲ開始スルカモ知レナイ、サウシマス銑鋼一貫シマシタ設備ノ全部ヲ完成シマスノハ、三年後デアリマシテモ、製銑ノ設備ダケガ一年半位デ完成シマスヲ以テ、其處カラ事業ヲ開始シタ場合デモ、其製銑設備ニ依テ銑鐵ニ對シテハ獎勵金ヲヤラウ、三年後ニ銑鋼一貫シタ設備ガ完成スルト云フ見込ガ確定シテ居レバ、一部作業ノ開始ニ依テ銑鐵ヲ製造シタ場合デモ吳レル機會ヲ與ヘマシタノデアリマス

○加藤委員長 ソレナラバ質問ハ是デ終了シテ……

○金光委員 モウ少シ質問致シタイ事ガアリマスガ、其質問ノ終局前ニ一寸御休憩ヲシテ戴クコトハ出來マスマイカ

○加藤委員長 ソレデハ金光君ノ質問ヲ保留シテ、是デ質問ハ一應終了致シマシタト云フコトニシテ、午後一時カラ決議ノ會ヲ開キマス

○戸澤委員 モウ一ツ第八條ノ第二號ニ依ル「主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間内ニ第一條ニ規定スル設備ヲ完成スルニ至ルヘキトキ」ト云フ分り難イ

○加藤委員長 ソレデハ金光君ノ質問ヲ保留シテ、是デ質問ハ一應終了致シマシタト云フコトニシテ、午後一時カラ決議ノ會ヲ開キマス

○戸澤委員 モウ一ツ第八條ノ第二號ニ依ル「主務官廳ノ認可ヲ受ケ一定ノ期間内ニ第一條ニ規定スル設備ヲ完成スルニ至ルヘキトキ」ト云フ分り難イ

午前十一時二十一分休憩ノ儘散會

大正十五年三月二十日印刷

大正十五年三月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社